

平成 24 年度 第 1 回 全国書写書道伝統文化大会要項

主催 一般社団法人日本書字文化協会、公益財団法人文字・活字文化推進機構

1、開催趣旨

全国書写書道伝統文化大会（伝統文化大会）は、夏・秋の第1回全国書写書道総合大会（総合大会）と並ぶ大会です。お正月にちなむものとして全国年賀はがきコンクールと学生書き初め展覧会から成る規模の大きな大会を開催するものであります。

開催の趣旨は、新しい学習指導要領で伝統文化の尊重が強く求められ、また国語科では「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が置かれました。日本の伝統的な習俗に根ざし、また古典、古文に親しむ学習が求められています。新事項は、話すこと・聞くこと、書くこと、読むことという国語の学びの3領域を支える基礎となるもので、書写はその大事な部分を構成しています。書写も伝統文化をより強く意識した学びとならなくてはなりません。こうした学びを後押しするコンクールとして開催するのが伝統文化大会であります。

また総合大会と同じく、一括実施することで書写書道の広がりを実感してもらい、毛筆・硬筆のバランスある書写書道の学びを推進し、また子どもらが年中コンクールに追われる状態を避けることも目的としています。

2、伝統文化大会の個別大会名

★平成 24 年度 全国年賀はがきコンクール

★平成 24 年度 学生書き初め展覧会

3、主催・後援

主 催 : 一般社団法人日本書字文化協会、公益財団法人文字・活字文化推進機構

後 援 : 文部科学省

全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全日本書写書道教育研究会
(申請中) 都道府県知事賞

4、表彰式 平成 25 年 3 月 3 日、東京・大手町の通信総合博物館

5、大会役員

大会顧問 鈴木 勲 (公益社団法人日本弘道会会長、元文化庁長官)

野口 芳宏 (千葉県教育委員、植草学園大学教授)

大会会長 大平 恵理 (一般社団法人日本書字文化協会代表理事・会長)

副会長 肥田美代子 (公益財団法人文字・活字文化推進機構理事長)

運営委員長 佐藤 貴子 (一般社団法人日本書字文化協会事務局長)

6、中央審査委員会

顧問	井上 輝夫（全日本書写書道教育研究会会長）
委員長	小森 茂（青山学院大学教授、元文部科学省教科調査官）
副委員長	城所 湖舟（横浜国立大学名誉教授） 加藤 東陽（東京学芸大学名誉教授、元文部科学省教科調査官）
委員	青山 浩之（横浜国立大学准教授） 浅井 幸夫（全日本書文化振興連盟参与） 磯野 光象（元文教大学講師） 加藤 泰弘（東京学芸大学准教授、文部科学省教科調査官） 柴田 五郎（元東京都小学校書写研究会会長） 辻 眞智子（聖心女子大・文教大学講師） 永島 國雄（元東京都小学校国語教育研究会書写部長） 長野 秀章（東京学芸大学教授、元文部科学省教科調査官） 蓮池 守一（全国連合小学校長会顧問） 宮澤 正明（山梨大学教授）

＝敬称略

～出品の仕方～

7、募集期間・対象

個別大会名	部門	対象	募集（必着）・実施期間
平成24年度 全国年賀はがきコンクール	*硬筆毛筆とも 規定の部 自由の部	幼児～一般	平成24年11月15日～ 平成25年1月18日
平成24年度 学生書き初め展覧会	*硬筆毛筆両部門 規定の部 自由の部	幼児～大学生 (専門学校生含)	平成24年11月15日～ 平成25年1月18日

8、課題

☆各個別大会の規定課題は課題一覧表をご覧ください。（別紙参照）

☆各個別大会とも規定課題と自由課題があります。

【規定課題】 1人1点

【自由課題】 課題文が違えば何点でも応募できます。複数出品された自由課題の場合は、最も優れた作品1点にのみ賞が与えられますが、出品点数の多さは賞決定の際の、評価材料とされます。

☆自由課題を含め課題文中の漢字は、原則として教育漢字学年配当を遵守します。

9、用紙と申し込み方法

年賀はがきコンクールと学生書き初め展覧会の硬筆の部は、大会運営委員会が定めた用紙（清書用紙）で応募しなくてはなりません。紙質を同じにして審査の公平を確保するもので、コピーは不可です。

同封されている「お手本・硬筆清書（規定）用紙の申込書」で下記の大会事務局にお申し込みください。清書用紙、お手本とも1枚10円です。ただし、保育園・幼稚園・学校から団体で申し込む場合は、応募予定者1人につきお手本は1枚、規定用紙は2枚まで無料です。梱包・送料代はご負担いただきます。

書初めの毛筆用紙は、最大は半切サイズ、すべてのサイズともに縦書きに限ります。規定のものではありません。

10、団体出品と個人出品

以前出品した団体にはこの要項とともに「団体出品の手引き」が送付されます。書塾、園、学校などがまとまって（5点以上で）応募される場合、団体応募として出品料の割引が受けられます（手引き参照）。新規団体は、事務局に「団体応募の手引き」を請求してください。個人出品は賞状・賞品の梱包、送料が個別にかかるため割高になっています。

個人応募セットを送料300円（切手）は同封してお申し込みください。

11、出品料

個別大会名	部門	団体出品料・参加料		個人出品料・参加料 (賞状揮毫料金・通信費等含む)
平成24年度 全国年賀はがきコンクール	規定の部	幼・小・中	370円	1,050円 (学年に関わらず)
	自由の部	高・大・一般	630円	
平成24年度 学生書き初め展覧会	硬筆の部	幼・小・中	420円	1,050円 (学年に関わらず)
		高・大	525円	
	毛筆の部	幼・小・中	525円	1,050円 (学年に関わらず)
		高・大・一般	735円	

12、作品の提出

「団体応募の手引き」中の「応募用紙」「出品目録」などに必要事項を記入して、作品と一緒に下記の大会事務局に送付してください。

いずれの場合も、払込取扱票を添付してください。振込みには同封の振込用紙（2枚）を使われると便利です。規定用紙なども同様です。

(振込み先送付先は最終ページをご覧ください。)

<出品票の明記>

規定用紙裏面の**応募者記入欄**（毛筆においては作品に貼る**出品票**）は、**必ず必要事項を書き込んで**ください。出品者の入賞履歴など、個人情報データベースの基礎となります。低学年の場合は指導者や保護者の方が手伝ってください。

13、結果発表 平成25年1月末

14、賞

全ての出品者に賞を授与し、大会参加の意欲を称える。

総合大会の賞として

文部科学大臣賞 書字文化大賞

を置き、毛筆・硬筆両部門総合的に優秀な成績の参加者あるいは団体に贈る。

個別大会の共通の賞として

<特別賞・・・出品数の約1%>

文部科学大臣賞 大賞 中央審査委員会賞 主催者賞 後援者賞 (予定) 都道府県知事賞を置き、それぞれ副賞を贈る。

<教育特別奨励賞>

地域の実情などを考慮して、顕著な成績と認められる作品に贈る。

<本賞>

優秀特選 特選 金賞 銀賞 銅賞 を贈る。

15、振込み先

00130 - 1 - 728113 一般社団法人 日本書字文化協会

大会事務局

一般社団法人 日本書字文化協会本部

〒164-0001

東京都中野区中野2-13-26 第一岡ビル3階

電話 03-6304-8212

FAX 03-6304-8213

ホームページ <http://www.syobunkyo.org>